

水田除草剤適正使用について

(財) 日本植物調節剤研究協会

当協会では水田除草剤の適正使用について、水管理の徹底を啓発する事業を行っております。とくに散布後7日間の止水管理のキャンペーン広告を、会員会社の協力を得て、4月から6月の投与期に日本農業新聞上に、記事の紹介を植調協会ホームページに掲載しております。

水田除草剤は、散布後有効成分が水中に溶け出し、水田土壌の表層に拡がって除草効果を発

揮するため、散布後に止水し、水を水田の外に流さないことは、除草効果を安定させ、水田外への成分の流出を防ぐことになります。

今年度も実施する水田除草剤適正使用キャンペーンは、畦畔の整備とともに散布後7日間、水を水田の外に出さないよう周知徹底を図るものです。

以下に新聞広告を掲載致します。

このキャンペーンを協力・推進しています。

石原産業株式会社	株式会社エス・ディー・エスバイオテック
塩友アグリ株式会社	クミアイ化学工業株式会社
三共アグロ株式会社	シンジェンタジャパン株式会社
住友化学株式会社	デュポン株式会社
日産化学工業株式会社	日本農薬株式会社
バイエル クロップサイエンス株式会社	BASFアグロ株式会社
北興化学工業株式会社	

平成20年度・除草剤適正使用キャンペーン

水管理の徹底

- 水稲用除草剤の**散布後7日間**は水尻を止めて、落水、かけ流しをしないようにしましょう。
田植前の散布でも、**散布後7日間**は落水しないようにしましょう。
- 畦畔管理をしっかり行い、漏水を防ぎましょう。
散布前に水持ちを確認しておきましょう。

湛水状態で散布された水稲用除草剤の有効成分は、一般的に一旦水中に溶け出した後、徐々に水田土壌の表層に吸着されて除草効果を発揮します。安定した除草効果を発揮するためには散布後の水管理が特に重要です。

畦畔のひびや崩れ、モグラ、ザリガニ、ケラなどの小動物による穴を補修し水漏れのないこと、水持ち具合を確認し、散布後7日間は落水、かけ流しせず、給水が必要になった場合でも緩やかに差し水し、決してオーバーフローさせないように注意しましょう。

以上の水管理で除草効果が安定し、水稲用除草剤の水田外への流出を防ぐこともできます。このキャンペーンは、除草効果の安定と水田外への流出防止のため、水稲用除草剤散布前後の水管理の周知徹底を図るものです。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
http://www.japri.or.jp

水管理を徹底しよう。止水期間は7日間。

平成20年度・除草剤適正使用キャンペーン

田んぼの外に水を出さないことで、
除草効果が安定し、
河川等への流出も防げます。

1 check!

1 畦畔の整備は万全ですか?



田面水が漏れないよう畦畔は予め補修しましょう。散布前にも確認しましょう。

2 check!

2 田面水が流出していませんか?



田面が露出しないよう水を張り、水口・水戻を止めて散布しましょう。
散布後7日間は決して落水・かけ流しをしないでください。

3 check!

3 ラベルをよく読みましょう



散布時は必ずラベルをよく読み、使用量・使用時期・使用回数を守りましょう。記載以外には絶対に使用しないでください。

**散布後7日間は
水戻を止めて田んぼの外に
水を出さないようにしましょう。**

財団法人 日本植物調節剤研究協会 <http://www.japror.jp> 平成20年度・除草剤適正使用キャンペーン協賛各社

不適切な水管理はレッドカード! / 水管理の徹底 止水期間は7日間

平成20年度・除草剤適正使用キャンペーン

不適切な水管理は除草効果を低下させるだけでなく、
河川等への流出の原因にもなります。



1 check!

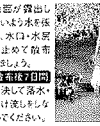
1 畦畔の整備は万全ですか?



田面水が漏れないよう畦畔は予め補修しましょう。散布前にも確認しましょう。

2 check!

2 田面水が流出していませんか?



田面が露出しないよう水を張り、水口・水戻を止めて散布しましょう。
散布後7日間は決して落水・かけ流しをしないでください。

3 check!

3 ラベルをよく読みましょう!



散布時は必ずラベルをよく読み、使用量・使用時期・使用回数を守りましょう。記載以外には絶対に使用しないでください。

財団法人 日本植物調節剤研究協会 <http://www.japror.jp> 平成20年度・除草剤適正使用キャンペーン協賛各社